

令和 6 年度 神戸市立図書館 事業 評 価

令和 7 年 8 月
神戸市立図書館協議会

令和6年度の取組項目と具体的取組及び評価項目

＜評価の基準＞

A:計画どおり実施し、一定の成果があった

B:概ね計画どおりだが、不十分な点や課題が残った

C:不十分な点や課題が多く、計画どおりにいかなかった

取組項目	具体的取組
1. 資料の充実	
(1)学び直しのための資料収集	・利用者の購入リクエストを参考に、マンション管理や社会福祉など、需要の高い資格試験の参考書を購入。データサイエンティストや IT エンジニアなど、最新の職種についての図書も購入。
(2)郷土資料の収集	・郷土資料受入冊数 1,233 冊 ・流通にのらない自費出版や古書に関しても情報を集め、積極的な収集に努めている。 ・収集資料の一部例 :『駒ヶ林村換地圖』（長田区の古地図）『プラネット映画資料図書館 50 周年記念誌』（神戸映画資料館の記念誌） など
(3)電子書籍の充実	・令和6年度末時点のコンテンツ数 5,028 点（令和5年度末 4,972 点）※前年比 101.1% - 貸出者数 20,836 人（令和5年度末 21,986 人） ※前年比 94.7% - 貸出冊数 36,267 冊（令和5年度末 39,029 冊） ※前年比 92.9% ・電子書籍利用の端緒となるよう、また、電子図書館に魅力を感じてもらえるようなコンテンツを選定。 旅先への携帯に便利な『るるぶ』等の旅行書を積極的に購入。 料理本など、人気の高い実用書、時代小説や文学賞の受賞作品、洋書（英語多読シリーズ）等。 児童書の人気シリーズ（「ふしぎ駄菓子屋銭天堂」等）を新たに購入。 ・令和6年度も引き続き2種の児童書の読み放題パック（「講談社 朝読おすすめ 50 点パック」「国土社『調べ学習パック』50 点パック」）を購入。 ・「ふるさと神戸コレクション」に有馬関係資料を 13 点追加。
(4)新館整備のための資料収集	・令和6年度新館用受入冊数 垂水図書館 16,763 冊、北図書館 12,570 冊 ・令和5年度新館用受入冊数 垂水図書館 6,232 冊、北図書館 6,076 冊 ・令和4年度新館用受入冊数 垂水図書館 5,503 冊 ・蔵書冊数（令和6年度末） 垂水図書館 88,236 冊、北図書館 89,097 冊 ・蔵書冊数+新館用受入冊数 垂水図書館 116,734 冊、北図書館 107,743 冊 ※いずれも寄贈を含む。 ・新垂水図書館、新北図書館の開館に向け、「新館用」として資料を収集（中央図書館で保管）。 ・新館用資料の収集では、比較的発行年の新しいものの中から、図書館として長く所蔵しておきたい資料や、児童書においては既に長く読み継がれている名作を中心に選書。 ・新北図書館は約 12 万冊での開館に向けて、令和7年度も精力的に収集を行う。

【図書館の自己評価】

- ・郷土資料の収集では、新刊書だけでなく過去に出版された資料も多く収集することに努めている。
受入冊数のうち、寄贈の割合が 65% (購入 35%)、また新刊書の割合は 49%。
- ・新館用の資料収集については、両館とも年間購入冊数が 10,000 冊以上 (既存館用を含む) となり、計画的な資料収集を進めている。
- ・令和 6 年度は、新館用資料の収集においても、市民の要求に応える資料、新たな利用を獲得できる資料は何かを念頭に置きながら、1 点 1 点よく吟味しながら選書を行った。
- ・電子書籍収集の取組みとしては、読書アクセシビリティを保障するため、読み上げ機能付きコンテンツであることを前提に、幅広い利用者にとって読みやすく魅力的な資料を選定することを心がけた。また、トップページ掲載のコンテンツをまめに入替えて、電子図書館の魅力を保つよう努めた。
- ・電子図書館に利用については、貸出者数および冊数のいずれも伸び悩んでいるため、利用促進のための PR などさらなる工夫が必要である。

評 価

B**【図書館協議会の評価・意見】**

- ・ふるさと神戸コレクションの充実は、貴重な郷土資料の保存につながり、意義がある。
- ・電子書籍の収集、利用促進は、読書バリアフリーの観点からも取り組んで欲しい。
- ・郷土資料は閲覧室にある書籍や貴重書だけでなく、神戸文学館など関連施設が何を所蔵しているかという情報の提供も大きな意味がある。
- ・どういう人がいつ頃使っているのか、イベントとの関わりがどうあるのか等今後につながる様な細かな分析をして、次の企画に生かして欲しい。
- ・今後の図書館としては、リアルとバーチャル (実際の図書館とデジタル図書館) 両方求めていくが必要になってくると思う。

評 価

B

取組項目	具体的取組
2. 読書推進	
(1)学習機会の提供、課題解決支援	
(一般向け) イベント開催数 296 回 参加人数 8,606 人 展示の回数 734 回	
・「トークショー&読書会～あなたにぴったりの本を選びます」(中央) 11/3 28 人【神戸「本」の文化振興プロジェクト】 ・講演会「トークセッション「まちの本屋」のこれから」(中央) 11/10 67 人【神戸「本」の文化振興プロジェクト】 ・講演会「おうちで楽しむ絵本の選び方「日常の中に読み聞かせを」(東灘) 6/29 12 人 ・講演会「ジブリで読み解くわたしたちの生きる「いま」」(北神) 9/21 30 人 ・資料展示「SDGs 兵庫区の取り組み～和田岬・ウングノハタケ」(兵庫) 10/16～11/10 ・資料展示(本の福袋)「この一行に逢いにきた」(北) 10/19～11/10 ・地域活動マッチングイベント「たるみっけ！」(垂水) 12/7 140 人 地域・社会貢献活動の幅を広げたいとの志を同じくする個人や団体・企業の相互関係を繋ぐ場に参加。	
(2) 読書推進のための関係機関との連携	
<行政機関> イベント開催数 80 回 参加人数 6,733 人 展示の回数 152 回	
・区地域協働課 みんなの学び場イオンモール×兵庫図書館@みらい会議(兵庫) 毎月 スタッフの選んだ本を毎月、30 冊程度、団体貸出でイオンモール神戸南に貸出。 ※「みんなの学び場」：兵庫区未来会議を契機にイオンモール内の自習室機能を持ち合わせた文化サロン(学び場)を図書館×区役所×未来会議メンバー(地域の個人、企業、NPO、団体)で協力、連携の下、創設したもの。 ・文化財課、埋蔵文化財センター、文化交流課 学ぼう！昔と今のくらしのうつりかわり(北) 7/27 7 人 兵庫県指定重要有形文化財である内田家住宅における、昔のくらし体験とうちわを作る工作会。 お宝だいぼうけん！(西) 7/23～8/31 79 人 図書館と埋蔵文化センターでなぞを解きスタンプを集める。 アニメ上演会応援展示(西) 4 月に 4 回 西神中央ホールにおける DVD 上演に合わせた関連本を展示。 ・KIITO ちびっこうべ 2024(三宮) 10/12～10/14 子どもたちの手で「ゆめのまち」を作り、その中に「ちびっこ図書館」をオープンした。ちびっこ図書館カードの発行、本の貸出・返却、POP 作成などを行った。 設置図書(児童書)：160 冊、カード作成：123 人、貸出利用者：98 人 ・こども本の森 神戸 本のもりもり秋まつり(三宮) 9/29 250 人 資料展示「本の森神戸スタッフが選んだ大切な人に贈りたい本」(西) 2/1～2/28 ・小磯記念美術館	

特別展「絵本の旅」（ＢＬ出版の絵本原画展）に協力（中央） 【神戸「本」の文化振興プロジェクト】
8/15「絵本を楽しむおはなし会」 9/14「ストーリーテリング」52人 ほか連携イベント実施

- ・神戸ファッション美術館
講演会「ファッション鑑賞の愉しみ～20世紀のモードと写真」（東灘）11/24 18人
- ・バンドー神戸青少年科学館
よみかせワークショップ「春をおとどけふーしてあそぼ！」（三宮）3/2 25人
- ・神戸市立須磨体育館
あつまれ神戸っ子！スポーツチャレンジ&須磨図書館イベント（須磨）12/1 13人
- ・神戸市立森林植物園、KOBÉ Rail & Trail ほか
森林植物園で本と植物のフェスタ（兵庫・北・北神・名谷）5/26 467人
- ・福祉局
認知症展示（全館） 9月
おとなのための手話啓発講座「やってみよう、手話」（三宮）2/8 10人
- ・健康局
自殺予防展示（全館） 3月・9月
歯と口の健康展示（全館） 6月
- ・消防局
防災イベント「なりきり消防隊」（垂水）2/8 29人
震災30年イベント「西図書館に地震体験車「ゆれるん」がくるよ！」（西）3/25 80人
- ・神戸地方法務局
終活セミナー（須磨）11/27 46人

<大学>

イベント開催数 22回

参加人数 532人

展示の回数 6回

- ・神戸大学
震災関連行事「おかえり、記憶の街」記憶の街ワークショップ in 六甲道（灘）1/17・1/18 計92人
- ・神戸市立外国語大学
講演会「ロシア絵本の世界」（名谷）11/4 61人
世界の言葉で「おはなしプレゼント」（名谷）11/4 41人
展示「世界の子どもの本展」（名谷）11/3～11/16
神戸市立外国語大学とJBBY（日本国際児童図書評議会）から借り受けた外国語の本を展示。
- ・神戸学院大学
子どもサイエンスLab. ～冬の自由実験～（西）2/15 26人
- ・甲南大学
講演会「東灘区の学術にふれよう・甲南大学編「親子の思い—『万葉集』と現代の思いはつながっている—」」（東灘）8/25 31人
資料展示「LLブックにふれてみよう」（三宮）6/13～7/21
三宮図書館所蔵のLLブックを甲南大学図書館へ相互貸借。甲南大学図書館での展示終了後、三宮図書館でLLブックと学生制作のPOPを展示。
- ・神戸女子大学
書籍館喫茶「本と私と珈琲」（新長田）11/10 14人
学生提供のコーヒーと豆知識、図書館員のブックトークを楽しむ催し。
一箱図書館長（須磨）7/2～7/31 ほか

- ・兵庫医科大学

講演会「おやこ性教育」（東灘）8/18 8人

<企業>

イベント開催数 25回

参加人数 2,297人

展示の回数 27回

- ・神戸の出版社紹介コーナーの設置（中央） 【神戸「本」の文化振興プロジェクト】
市内出版社に依頼し、中央図書館1階に会社紹介パネルやその出版物を展示（BL出版、出版ワークス、エピック、神戸学院大学出版会）
- ・「KOBÉ BOOK FAIR & MARKET in 六甲アイランド」の開催（中央）3/22 【神戸「本」の文化振興プロジェクト】
出店者数72店 来場者数4,500人（売上推計）売上冊数 約2,500冊
- ・日本政策金融公庫
ビジネス講演会「起業をかたちに2025 創業する前に知っておきたいこと」（中央）2/21 34人
- ・BL出版
BL出版社創業50周年記念展示「わがまちの出版社おめでとう50周年@兵庫図書館」（兵庫）8/10～8/31
「ちきゅうパスポート」パネル展示（北神）3/26～5/12
- ・神戸高速鉄道株式会社
メトロこうべで絵の本ひろばとよみきかせ（兵庫）5/6・12/15 計38人 ほか
- ・神戸新聞社
出張思い出新聞社・親子新聞教室（東灘）9/29 20人
親子新聞教室（須磨）8/23 13人
- ・橋の科学館
クイズラリー「知らなかった！ 橋（&図書館）のアレコレ」（垂水）7/23～8/31 79人
科学実験講座「知らなかった！ 橋のアレコレ」（垂水）7/27 21人
- ・株式会社くにつか
しんながたくにづかローカル&ワールドフェスティバル（新長田）11/30
シン・ナガタ図書館検定 7人 ほか
- ・大丸須磨店
連携展示「星の王子さま」展（名谷）11/27～12/9 ほか
参加型展示「みらいの図書館 みらいの名谷」（名谷）3/15～5/6 146人

<地域団体・NPO>

イベント開催数 94回

参加人数 3,465人

展示の回数 125回

- ・神戸定住外国人支援センター
駒ヶ林小学校グローバル読書の会（新長田）7回 計95人
絵本の読み聞かせ（新長田）10回 計113人
- ・神戸・図書館ネットワーク
読書会の共同開催 （中央）2回 計20人 （名谷）12回 計77人
- ・神戸賀川サッカー文庫
神戸賀川サッカー文庫10周年記念展示（中央）10/2～10/16
神戸賀川サッカー文庫10周年記念サロン（中央）10/14 51人
- ・楽喜（ラッキー）落語研究会
気軽に落語会（灘）4回 計68人
- ・こどもワクワク食堂
こどもワクワク食堂での読み聞かせ（兵庫）8回 計152人
- ・ベルスト鈴蘭台、北区役所管理組合

えほんで防災（北）10/6 237 人 ・助産所ポスチャー 出張展示・団体貸出（須磨）12 回 ・一般財団法人神戸農政公社（神戸ワイナリー） ワークショップ「ワインコルク栓のスタンプづくり」及び関連資料展示（西）10/26 59 人	
(3)新しい工夫を取り入れた企画 ・DD Night（デジタルデトックスナイト）～本に浸かる～（三宮）11/3 20 人 スマホ、PC、タブレット、ゲーム機などのデジタル機器を OFF にして、DJ による BGM を聴きながら、図書館の中で読書に没頭できる時間と空間を提供した。 ・キャナルタウンひろば夜活用 OP イベント「よるよむひろば」（兵庫）3/21 行事全体 600 人 JR 兵庫駅前広場の夜活用を目的に、行政、出版社、商店、NPO 法人、地域団体、学校園と連携してイベントを実施。図書館は BL 出版の本展示、ワークショップ、読み聞かせ等を行った。 ・電子図書館や k-lib ネットの体験会 電子図書館体験会（中央）3/12～3/13 14 人 ふらっと体験 スマホ図書館（灘）11/8 6 人 手のひら図書館～スマホを使った図書館講座～（垂水）5/4～5/5 3 人 ほか	
(4)情報発信力の強化 ＜Web ツールの活用＞ ・神戸市公式イベントサイト「おでかけ KOBE」を活用し、各館のイベント情報を発信。 ・X の活用 定期的な神戸関連本紹介、行事の告知及び報告を投稿。 ＜行事内容・方法の工夫＞ ・「防災科学技術研究所×神戸市 震災 30 年イベント これからの地震にそなえとう？」（中央）1/18 計 291 人 クイズラリー、VR 地震体験、津波計算ワークショップを、実施場所を通りすがりの方も参加しやすい 1 階ロビーで実施。 ＜館外での図書館案内＞ ・須磨区役所図書館・体育館出張デスク（須磨）3/28～3/31 16 人 区役所に転入手続きに訪れた市民を対象にした図書館の施設案内。	
【図書館の自己評価】 ・神戸「本」の文化振興プロジェクトが 2024 年 7 月よりスタート。外部アドバイザーの登用により中央図書館では書店業界と連携した魅力的なイベントを次々と開催した。 ・中央図書館の賀川サッカー文庫 10 周年記念サロン、震災から 30 年により震災関連資料室のリニューアルおよび防災連携イベント実施など、節目となる取組みを実施した。 ・各館で地域と連携した行事、新たなニーズや工夫を取り入れた企画を多数実施し、利用者に喜ばれる読書推進に取り組めた。 ・震災関連行事「おかえり、記憶の街」では、広報に力を入れ、例年を大きく上回る参加者を得た。（灘） ・大学と連携して実施した講演会「ロシア絵本の世界」では、他国への理解を促す機会を提供できた。（名谷） ・小さな子のいる家庭で関心の高い分野である「おやこ性教育」をテーマにした講演会は満足度が高かった。（東灘） ・デジタル機器から離れ読書に浸ってもらおうという新たな工夫を取り入れた企画は反響が大きかった。（三宮） ・転入手続きの多い期間限定で区役所への出張デスクを設ける試みでは区民へ図書館の存在をアピールできた。（須磨）	評 価 A
【図書館協議会の評価・意見】 ・一段と関係機関との連携が進み、それぞれの資源を有効に活用した相互作用効果、図書館で利用者が来るのを待つ姿勢から、積極的にアウトリーチしていく姿に変わっていく様子が見て取れる。 ・書店との連携は画期的で、活字文化の推進上、さらに進めてほしい。 ・学習機会の提供はイベントのみでなく、小中学校の探求学習との関連等日常の取り組みも併せて成果として出していると思う。 ・イベントが沢山ある中、あまり知られていない。今後さらに広報に工夫が必要。	評 価 A

取組項目	具体的取組
3. 施設整備とデジタル化の推進	
(1)新館整備事業（垂水図書館、北図書館、三宮図書館） 垂水図書館（令和7年9月30日開館予定） 工事進捗にともない、内装や製作家具、サイン類詳細の確認と調整、備品類の調達準備を行った。 北図書館（令和9年秋頃開館予定） 工事業者を決定し、建設工事現地説明会を経て工事に着手するとともに内装設計を進めた。 三宮図書館（令和10年開館予定） 館内レイアウトや内装デザイン等、設計を進めた。	
(2)サービスポイントの検討 図書館外返却ポスト 神戸ファッション美術館に返却ポストを新設。ファッション美術館等と連携してPRを行った。	
(3)自動化機器の利用促進 ・自動貸出機の設置場所をわかりやすいカウンター付近に移設する等、利用促進を図った。 自動貸出機利用率 46.0%（令和5年度 43.7%） ・自動貸出機利用促進イベントの実施（本の福袋） たるるんの SUMMER BAG（垂水）7/23～8/18 計76人 ほかに複数館で実施。 自動貸出機の利用者のみ、本の福袋を借りられることとした。	
(4)デジタル化の推進 ・座席予約システムに同じ座席で時間延長できる機能を追加（利便性の向上）。	
【図書館の自己評価】 ・新館への移転再整備については、それぞれの進捗状況に応じ順調に進めている。 ・図書館外返却ポストの新規設置を行い、図書館のない地域へのサービス補完に努めた。 ・自動貸出機を便利に使ってもらえるよう利用登録の際に全館が積極的に使い方の説明を行った。また楽しく利用してもらえるイベントを実施し、徐々に利用率が伸びている。 ・利用者の声に応え、座席予約システムの延長機能を追加し、利便性が向上した。	評価 A
【図書館協議会の評価・意見】 ・自動化を推進しながらも、サービスの1つとして部分的にはアナログ機能もあえて残すことも魅力になるかと思う。 ・座席予約システムの機能追加で、長時間かかる調査に取り組んでいる人は随分助かっていると聞いている。 ・紙やデジタルについて、全てをどちらかにするのは問題で、図書館として何が最適かを考えて欲しい。	評価 A

取組項目	具体的取組
4. 誰もが使いやすいサービス	
(1)利用しやすい環境の整備	
・児童コーナー円形書架に看板を設置し、英語・ベトナム語・中国語それぞれの言語で書かれた絵本の配置をわかりやすくした。（新長田）	
・老眼鏡の貸出を希望される方の需要（度数など）に応え、老眼鏡を追加・更新。併せて、窓口での貸出ではなく、ユニバーサルコーナーで自由に利用できるように変更した。（垂水）	
・リーディングトラッカー・拡大読書器のない館に配置し、全館に整備した。	
・児童コーナーの書架スペースの拡張等や、カーペットコーナーのリニューアルを行い、利用しやすい環境づくりを行った。（中央）	
(2)利用支援	
映画会（バリアフリー上映）（灘）計 8 回 120 人	
バリアフリー映画会（須磨）11/14 32 人（東灘）12/22 17 人（中央）3/14 11 人	
バリアフリー関連展示（新長田）12/1～12/14（垂水）2/18～3/2	
点字絵本や大活字本、LL ブック等所蔵資料のほか、リーディングトラッカー等の読書支援ツールの紹介。	
(3)関係機関との連携によるサービスの提供	
神戸市立点字図書館連携行事の開催	
・読書バリアフリー機器体験会（中央）3/12～3/13 計 25 人	
・読書支援機器及びバリアフリー図書の展示（中央）3/1～3/20	
・体験しよう 本のバリアフリー（兵庫）2/24 8 人	
点字の作成やテキストデジタイズの体験。	
【図書館の自己評価】	
・児童コーナーのリニューアルによりコーナーの面積を広げ、ベビーカーで来られる方の負担を少しでも減らせるよう努めた。また、コーナーの外（視聴覚コーナーに近接）にあった、大型絵本架を取り込み、ゆったりと選べるようにした。カーペットコーナーの貼り替えも行い、好評である。（中央）	
・『読書バリアフリー法』に関するイベントとして、市立点字図書館と連携し、バリアフリー機器及び図書の展示期間中に館内で機器体験会を実施した。参加者は熱心に耳を傾けていた。あわせて電子図書館のバリアフリー機能についてもPRした。（中央）	
・市の読書バリアフリー法関係所管（福祉局障害福祉課、市教委特別支援教育課・教科指導課、点字図書館、中央図書館）とは、定期的に課題の確認と情報共有を行っている。	
【図書館協議会の評価・意見】	
・全体として一定のバリアフリー化が促進されていると思うが、当事者が利用可能な制度の存在を知らないと感じるので、取り組みの周知をより一層図っていただきたい。	
・時期をずらした全館巡回型の取り組みやパッケージにして簡単に動く仕組みが必要かもしれない。	
・各館の利用層にも特徴がありそうなので、標準的サービスをベースとして、日本語以外を母語とする方、小さな子供、子育て中の方、お年寄り、働く大人など各層のいずれに特化したサービスも持つことも各館の魅力としてあっても良いと思う。	

評価

A

評価

A

取組項目	具体的取組
5. 子どもサービス	
(1)生涯にわたって読書を楽しむ習慣を育てるための取り組み	
<乳幼児と保護者向け> イベント開催数 400 回 参加人数 6,815 人 ・もっとクリスマスを楽しもう！おはなし会とワクワクあそび（新長田）12/15 25 人 ・もう一度！お名前プレゼント♪（垂水）6/29 14 人 <児童向け> イベント開催数 1,015 回 参加人数 18,569 人 展示 493 回 ・めぐれ、図書館（ライブ）ラリー（中央）4/19～5/12 32 人 ・こわ～い!!おはなし会（東灘）8/12 2 回 計 69 人 ・スタンプカード（灘）4/23～5/12 127 人 期間中、図書館行事に参加するごとに 1 つスタンプを押すことができ、3 つたまと参加賞がもらえる。 ・バンドー神戸青少年科学館連携 「星空 de えほんよみきかせ」（三宮）10/27 100 人 ほか ・ぬいぐるみのおとまり会（北）4/20～4/21 5 人 ・こどもフェスタ 2024（北・北神）8/18 597 人 森林植物園のこどもフェスタにおいて、工作会とおはなし会を実施。 ・参加型展示「つながる絵本「手をつなごう！みんなの輪」」（北神）4/23～5/12 156 人 ・シン・ナガタ図書館からの挑戦状（新長田）4/16～5/12 93 人 謎解き要素を加えたクイズラリー。 ・サバイバル工作教室（須磨）1/12 24 人 ・みんなで！かるた大会（名谷）1/11 20 人 ・一日図書館員「チャレンジ☆ライブラリアン」（西）2 回 計 8 人 <小・中学生への調べ学習支援> イベント開催数 7 回 参加人数 68 人 展示 6 回 ・プログラミング体験講座～ロボット「こくり」はうごくかな？～（東灘）3/22 11 人 ・ほくほく研究所「光るスライムをつくろう！」（北神）7/27 10 人 <YA（ヤングアダルト）向け> （館内） イベント開催数 10 回 参加人数 44 人 展示 198 回 ・岡部みゆき作品展示及び関連資料展示「しずかにデモクラシー」（三宮）2/14～2/27 ・参加型展示「YA うろおぼえイラストコンテスト 2024」（須磨）7/19～8/31 76 人 ・ユースステーションと図書館で謎解き！（垂水）10 回 計 44 人 ・参加型展示「職業投票展示」（西）11/1～11/30 4 つの職業を紹介した展示を見て、興味のあるものに投票する。	

(学校連携) 展示 11 回 ・ 本山南中学校×三宮図書館 ビブリオバトル上映会（三宮） 3 回 計 50 人 ・ 兵庫県立伊川谷高等学校図書委員作成 POP 展示（名谷） 1/18～2/9	
(2)新しい工夫を取り入れた企画 ・ ベビーマッサージ体験 - はじめてのベビーマッサージ体験とミニおはなし会（三宮） 6/19 8 人 - JABC（日本ベビー&チャイルドケア協会）認定講師によるベビーマッサージの体験レッスンと図書館スタッフによる赤ちゃん絵本の読み聞かせ。 ・ 神戸まつりとの連携 - 読み聞かせ、資料展示、工作会、図書館紹介を行い、来館のきっかけを作った。 - ふれあい中央カーニバル（三宮） 4/20 445 人 - 須磨音楽の森（神戸まつり）須磨図書館絵本ひろば（須磨） 10/26 220 人 ほか ・ みんなで祝おう！おたんじょうび会（西） 6 回 計 60 人 - 誕生日を迎える乳幼児とその保護者のための特別おはなし会。図書館が作成したオリジナルフォトフレームを使って自由に撮影できるスポットを設けた。	(3)ボランティア等との連携 ・ 夏休み特別おはなし会の共催（中央） 7/30 3 回 計 66 人 ・ こうべ子ども文庫連絡会・神戸図書館ネットワークと、図書館との交流会（中央） 12/13 ・ かものこおはなし勉強会との共催によるストーリーテリングの勉強会（月 1 回 中央及び地域館） ・ 小磯記念美術館の特別展「絵本の旅」関連イベントで、「タやけ文庫」「かものこおはなし勉強会」「こうべ子ども文庫連絡会」の各ボランティアと連携（中央） ・ 「読み聞かせびと養成講座」修了生が希望する活動先ボランティアグループへの中繋ぎ。（中央）
(4)学校園との連携(保育園、こども園含む) ・ 新規採用学校図書館司書に対しての研修（中央） 4/17 ・ 学校司書全体研修会における、児童書の近刊紹介（中央） 4/23 ・ 学校司書実践研修にて、図書館を会場に「レファレンス」研修（中央） 11/8 ・ GIGA 端末利用による電子書籍コンテンツの利用への調整等。（開始は令和 7 年度から）	【図書館の自己評価】 ○地域館では、各年代を対象に単館で行うイベントのほか、市内他館や他部局等と連携し、幅広く事業を実施した。 ・特に、こどもフェスタ等では複数館の横連携に加え外部機関とも連携。大掛かりなイベントを実施でき利用者にも好評であった。 ○中央では各ボランティアグループとの交流会等を適宜実施し、情報共有、意見交換を行った。令和 6 年度に開催したストーリーテリングに関するイベントは、そうした中で実現したものである。 ○定例おはなし会のボランティアグループとは、行事に対する方向性や考え方の確認等を行うことで、その活動をスムーズにし、神戸市立図書館として一体的なおはなし会となるよう努めた。
【図書館協議会の評価・意見】 ・多くのイベントを企画され、子供たちに読書、身近に常に本がある生活の魅力を各年齢層に伝えていると思う。 ・高校生の作成したポップの展示は、全館巡回の展示にして多くの地域の同世代の利用者に見てもらいたい。 ・新規イベントについての着想と機動力に敬服している。 ・ボランティアとの連携で、きめ細かな活動が増えている。 ・新しい企画など、続けていくのは大変かもしれないが、続けられる工夫とともに頑張っている。 ・図書館には機能の多機能化が求められている。居場所や、子供たちが少しでも希望を持てるようなイベントでの交流など、視点をひろげたものを盛り込んでもよいと思う。	評 価 A 評 価 A